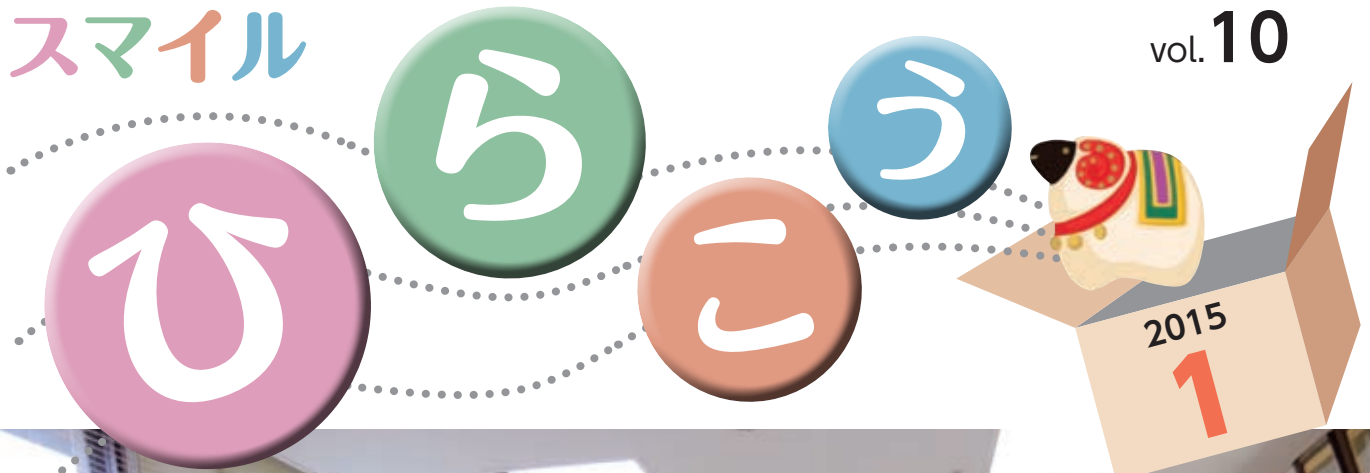


スマイル



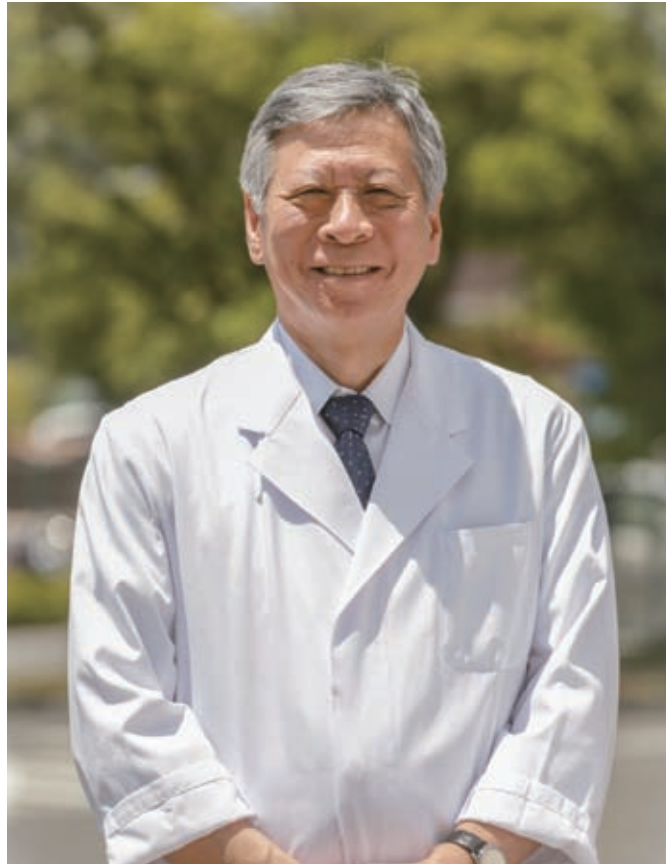
新年のご挨拶

特集

枚方公済病院内視鏡センターがリニューアルオープンです!

看護部長のご挨拶 / 連携医療機関紹介 vol.10 / 副院長のひとり言⑥ / Information

新年のご挨拶を申し上げます



枚方公済病院 院長
野原 隆司

新年あけましておめでとうございます。2015年が皆様にとって素晴らしい年となるように祈ります。私も赴任して1年と9か月、この間に枚方情勢、医療情勢、さらには今後の医療改革の行く手を多く学びました。そのため多くの施策を施しました。その中には今すぐに結果の出ない未来に向けての布石となるものも多くあります。

私は“病院は人なり”と信じています。ハード面は金銭面、あるいは環境条件を整えれば何とかできるでしょうが、人的財産には時間と人の智力が必要です。

ANAが人的資産のことを“人財”と呼んでいることを知りました。全くその通りです。人を募り、教育し、理想を語ることは容易なことではありません。人を育てるには人の連携が必要です。共通の努力目標で結ばれるには強力なリーダーシップも必要です。これも人です。病気を仲介にする患者さんとの触れ合いは特殊な関係ですが、人の情を知ることとはとても大切です。人財のある病院で、人に貢献できる未来を作りたいと考えています。私の座右の銘は“邂逅”です。



枚方公済病院 副院長
田中 満

新年明けましておめでとうございます。
昨年は病院にとって厳しい医療環境になりましたが、地域の先生がたのご協力で何とか乗り切ることができました。感謝申し上げますとともに今年も昨年にも増して枚方公済病院にご支援賜りますようお願いいたします。

さて当院の体制ですが、懸案でした心臓血管外科の再建もでき、4月からは眼科が2名体制になる予定です。少しずつですが診療体制を充実させ、地域完結型医療の中核病院として地域に貢献していきたいと思っております。

また地域医療連携室のスタッフも充実させていく予定ですので、さらに先生がたのお役に立てると期待しております。

新年あけましておめでとうございます。

平成27年1月より地域医療連携室 事務課長に就任いたしました、高砂 直樹です。よろしくお願いいたします。

当院では、昨年度より電子カルテと連携した糖尿病治療連携ネットワークシステムを導入しております。登録された医療機関様におかれましてはインターネットPCを介して、同意を得た患者様（糖尿病に限りません）の診療情報・検査データ・検査所見・処方等の参照が診察室内でも可能となります。登録、内容説明、デモンストレーションは随時受け付けておりますので、地域医療連携室までお問い合わせください。

また、地域医療連携室では地域の先生方からの診療・検査依頼等にも迅速に対応出来る体制を整え、後方支援や相談業務対応も充実させていきます。今後も、さらに地域の先生方と密接に連携を取りながら、お役に立てるよう業務にあたってまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室 事務課長
高砂 直樹



枚方公済病院内視鏡センターが
リニューアルオープンです！

内視鏡センターに新しいタイプのストレッチャーを国内で先駆けて導入しました！患者さんにとって胃カメラや大腸カメラはしんどい検査ですが、昨今増えている鎮静剤を使用して楽に検査を受けたいという患者さんの要望に広く対応できるようになりました。

導入したストレッチャーはデザインや寝心地がよだけでなく、特に目を引く足台は回転・昇降・

着脱可能で、患者さんに大腸カメラ中に行っていただく体位変換に着目して装備されたものです。鎮静剤を希望された患者さんにも快適で安全に使用してもらえただけでなく、検査医や介助者の負担も軽くなるように工夫されており、苦痛の少ない上下部内視鏡検査が可能になっています。また、長時間に及ぶ粘膜下層剥離術（ESD）等の内視鏡手術にも対応できるこ



内視鏡センター内



看護部長の
ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当院では1号館4階の実装が終了し、昨年4月から整った療養環境で313床がフル稼働いたしました。看護部では「安全・安心を最優先した質の高い看護の提供」をめざし、自己研鑽に努めております。少しでも患者さんへの貢献ができればと認定看護師等による看護外来（慢性



多機能型ストレッチャー（足台有り）



多機能型ストレッチャー（足台取り外し後）

れまでにない多機能型ストレッチャーです。

当内視鏡センターは、最先端のハイビジョン、特殊光内視鏡システムを用いた高い診断精度の検査と最先端の治療を提供しており、病変の早期発見、早期治療を目標に安全で質の高い内視鏡診療の提供を行っています。内視鏡検査を楽に受けたいという患者さんの要

望に真摯に対応でき、かつ安全で質の高い内視鏡診療を提供できる医療機関として、枚方公済病院は今後も地域の医療と健康の増進にますます貢献して参ります。

これからはしんどい内視鏡検査を受けに来た患者さんを、病院スタッフだけでなくストレッチャーも送迎しおもてなししていきます。今後ともよろしくお願ひします。



消化器内科
青木 信裕

心不全・糖尿病・禁煙）を開設いたしました。

また、患者さんやご家族が安心して住み慣れた地域へ戻れるよう「退院支援」にも力を注いでいます。そのためには訪問看護師や施設の看護師、ケアマネジャーとの連携も重要と考え、意見交換会や勉強会を開催いたしました。今年もさらに連携を深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



看護部長
畑 幸枝

医療法人清祥会 川上内科

☑ 開業のきっかけ

膠原病や腎臓病の患者さんは遠方の大学病院などへ受診することが多いと思います。その理由のひとつとして大学病院勤務時代に感じたのは、逆紹介先が少ないということでした。これまでの経験を生かし、地域において専門的な診療を提供できる医療機関として開業しました。

☑ 毎日の診療に心がけていること

関節リウマチや膠原病、腎臓病を中心に診療を行っています。次々と新しい治療薬や治験が出てくる領域ですので、専門性を維持しさらに向上させるため、学会や研究会への参加・発表などに職員全てが取り組んでいます。その取り組みが患者さんへのより良い医療提供につながるのではないかと考えています。

☑ 枚方公済病院について

微力ではありますが、週1回の腎臓・リウマチ外来を担当させていただいております関係上、何かとお世話になっております。当院は透析治療も行っていますので、透析患者さんの入院に際してはいつも本当にお世話になっております。また透析患者さんは循環器合併症が多いため、ドクターカーでの搬送を何度もお願いしており、循環器内科の体制と先生方の存在は特に頼もしく思っております。このような距離感で連携させていただいておりますので、病棟にも足を運ぶ機会が多々あり、外来スタッフの方々だけでなく、病棟スタッフの方々にもいろいろとお世話になっております。当院にとって無くてはならない病院であり、今後とも密な連携をよろしくお願い致します。



川上内科 院長 川上 勝之先生

所在地：〒614-8295

京都府八幡市欽明台中央 1-1

ジーニアススクエア 2 階

☎ 075-874-7538

診療科目：内科、リウマチ科、腎臓内科、人工透析

連携医療機関紹介



このコーナーでは連携医の先生方をご紹介します。

医療法人 田中泌尿器科医院 人工透析センターひらかた

☑ 毎日の診療に心がけていること

透析患者では心血管系疾患をはじめとした合併症が多いため、早期発見・早期治療するよう意識しています。不定愁訴が多いという特徴もあり、そのために時間をかけて丁寧に問診するように心掛けています。

☑ 趣味

旅行、バスケットボール

☑ 枚方公済病院について

緊急、専門性を要する場合やスクリーニング目的での画像診断等あらゆる場面で紹介させていただいておりますが、診療内容はいつも充実していて患者のみならず私どもも心強く思っています。事務部門の方の対応も大変丁寧正確で日頃から感謝しています。



人工透析センターひらかた 院長 岡崎 英俊先生

所在地：〒573-0127

大阪府枚方市津田元町 4-16-1

☎ 072-858-8325

診療科目：循環器内科、人工透析



枚方公済病院 副院長
石井 賢二

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

さて、昨年からの続きです。枚方公済病院の厨房棟は300床に対応する規模で建てられたものであると前院長が言っていた記憶があります。しかし、ようやく313床になった今ではもはや老朽化し、建て替えの計画も出ています。以前は厨房棟の中に職員食堂があって、院内で会議のできる広さをもつ唯一の場所だったので、対外的な講演会もそこで行われていました。現在そのスペースは配膳車のドックとして使われています。

配達の弁当は大きく分けて医局、病棟、

事務、放射線科の4か所に別々に入っていて、勢力争いをしています。私もすべて食べてみましたが、魚の多い処、揚げ物の多い処など特色があります。最近になって事務部で担当している検食のローテーションに参加するようになり、月に2回くらい病院食を食べていますが、私が入院していた5年前もまずまずの味でしたが、昨年から目をみはるほど美味しくなりました。おかずの味付けも絶妙になり、何より米飯が美味しくなっています。院長による改善案が奏功しているようです。それでも食事が不味いという投書もみられようで、なお一層の努力が必要なようです。

理念と基本方針

理念

地域の皆さんと国家公務員およびその家族に安心していただける医療を提供します。
患者さんの立場を尊重した合理的な医療を行ないます。
病院は安全で働きがいのある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励みます。

基本方針

枚方における中核病院として快適な療養環境と高度な医療を提供しつづけます。

Information

● 糖尿病教室のお知らせ

糖尿病の患者さんを始め、「家族や友人が糖尿病」「糖尿病予備軍と言われた」「糖尿病を知りたい」など、糖尿病に興味のある方どなたでも参加できます。ぜひお気軽に参加ください。

日 付：1月27日（火）午後1時過ぎより
場 所：枚方公済病院 2号館セミナールーム 1
テーマ：「めまいと糖尿」

● 肝臓病教室のお知らせ

慢性肝炎・肝硬変・肝臓がんなどの慢性肝臓病を抱える患者さんを対象に、肝臓病に関する情報を提供するための教室を開催します。

医師・薬剤師・栄養士・看護師からの講話や、患者さん同士のグループワークなどを行います。

日 時：1月28日（水）午後2時～4時
場 所：枚方公済病院 2号館セミナールーム 1
テーマ：「肝硬変とその合併症に対する治療」

編集後記

新年おめでとうございます。旧年中は当院の医療活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

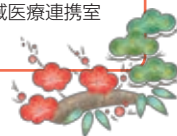
さて、昨年末は爆弾低気圧が日本列島に到来し、大阪といえども木枯らしに凍えたのではなかったでしょうか。爆弾低気圧というのは、私にはまったく馴染みのない言葉であったのですが、一日で平均24ヘクトパスカルに達する低気圧のことを言うそうです。急速に発達し熱帯低気圧並みに暴風雨をもたらす低気圧の俗称のことだそうで、気象庁では用語として用いないそうです。日本付近では10月から1月頃の冬の嵐の時期、2月から3月の春一番の時期が最も多いそうなので、今年も再来するかもしれません。

また当院にとってはこの冬の寒さと同様の厳しい年でもありましたが、地域の医療機関をはじめとするみなさまとの連携のおかげで本年を迎えることができました。みなさまと繋ぐ広報誌「スマイルひらこう」も好評をいただき厚く御礼申し上げます。

今回は昨年末には内視鏡検査を受ける患者さんの苦痛を和らげるために新しいタイプのストレッチャーを設置したことをお知らせすることができました。今後も当院の情報を限なくお知らせしていきたいと考えていますのでご協力よろしくお願いたします。

最後になりましたが、本年がみなさまにとって良い年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

地域医療連携室



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093

<http://kkh-hirakoh.org/>